

競技運営上の注意事項

1. 試合会場到着時

試合開始90分前迄に到着すること。

試合会場に到着したら、直ちに会場内の指定された場所で代表者が受付をすること。

2.ベンチについて

ベンチは、本部席からフィールドに向かって、左側を対戦番号の小さいチームが使用する。

3 メンバー表の記入と提出について

(1) メンバー表は、マッチコーディネーションミーティング時に提出する。

(2) 背番号は、大会参加申込書に記載した番号とし、主将については、背番号を「〇」で囲む。

(3) 試合登録選手は、表示順の数字を先発選手は(1~11)、交代要員は(12~20)で記載し、登録外選手はブランクとする。

※ポジション変更は、二重線で消して修正する。

※同一ポジション内は、後→前、右→左の順

※チームスタッフも表示順の数字を記載する。

※登録選手一覧の提出は1回戦のみ

4.出場停止処分を受けている選手について

今大会前に出場停止処分を受けて、処分未消化の選手は出場できないので留意する。

対象者の有無を必ず確認すること。

5.マッチコーディネーションミーティングについて

(1) 試合開始 70 分前にマッチコーディネーションミーティングを行うので、会場の指定された場所に集合する。

(2) 出席者は、監督、他1名の2名以内とする。

6.ウォーミングアップについて

(1) 試合前及び試合中のウォーミングアップ場所は、会場運営責任者の指示に従う。

(2) 試合中のウォーミングアップは、競技者と異なる色のピブスを着用して行う。
尚、ボールは使用できない。

(3) ハーフタイムでのピッチ内練習はボール使用可とし、交代要員及びベンチスタッフのみとする。

7.試合球について

試合球はモルテンヴァンタジオ4900とし、6個のセミマルチボールシステムで行う。

8.試合前の集合について

先発選手は、指定された時間に集合し、審判から用具及び装身具着用等の点検を受け、指摘を受けた場合は、その指示に従い再点検を受ける。

9.セレモニーについて

実施するが、握手等はしない。

10.飲水タイムについて

実施しない。

11.ベンチにおけるマナーについて

- (1) ベンチに居る者は、常にベンチや椅子に着席していなければならない。(但し、戦略的指示を与える場合は除く)
- (2) ベンチから選手に対して、反スポーツ的なプレーを助長するような言動、あるいは審判の判定に対する不服、または誹謗するような言動は厳重に慎むこと。

12.PK方式への時間について

- (1) PK方式が行われる場合は、試合終了後(延長戦終了後)に約1分間程度の時間を取ってから、速やかに実施する。(なお、審判が認めた場合のみ、防寒着の着用を認める)
- (2) 競技者は、フィールドの外に出ることは認められない。

13.表彰式について

表彰式は、原則として試合時の服装で整列する。(該当チームのみ整列し表彰する)

- (1) 準決勝終了後に表彰を行う。

14.悪天候時の対応について

強雨や落雷等の予兆等により試合の実施および継続が不可能な場合は、審判員・マッチコミッショナー・運営の判断により試合を中断もしくは中止する。

- (1) 試合の中断時間が通算1時間を超えた場合はその試合を中止とする。
- (2) 中止となった場合、前半が終了しており、得点差があれば試合は成立とする。同点の場合、又は試合が中止となった場合は、抽選により次回戦進出チームを決定する。

15.応援について

- (1) 応援は指定された場所のみ可とする。
- (2) 試合会場の利用規制により、鳴り物を利用しての応援は不可とする。
- (3) 応援横断幕等は、掲示は不可とする。

16.医療救護について

特別な医療体制になっていないので、負傷者が出た場合は、チームでの対応とする。大きな怪我や、救急車で緊急医療機関に搬送となる場合は、必ず、本部に連絡すること。その後については、チームの責任で対応する。

17.駐車場について

参加チームバス、選手の駐車場は、指定された駐車場を利用すること。

※会場図を参照のこと。

近隣の施設に迷惑となる駐車は、絶対しないこと。

参加チームがバスで来場する場合は事前に大会事務局に報告すること。

18.本大会は、2023/2024競技規則を適用します。

1. ベンチに入ることができるのは役員 6 名、交代要員 9 名の計 15 名までとし、マッチコーディネーションミーティング時に提出されたメンバー表に記載され承認を得た者に限る。
2. 交代によって退く競技者は、近くの境界線からフィールドの外に出る。交代要員は退く競技者がフィールドの外に出た後、試合の停止中に主審の承認を得てハーフウェイラインのところからフィールドに入る。
3. 競技者が負傷して主審が競技を停止した後、主審の承認を得てからチームの医療担当者 1 名と役員の 2 名までのみフィールドに入ることができる。医療担当者は負傷程度を判断すること、および負傷者のフィールドからの搬出を手助けすることのみとし、フィールド内での治療は認められない。ただし、ゴールキーパーおよび両チームの選手 2 名以上が負傷した際、または警告や退場後の負傷の程度によってはフィールド内での治療を認める。負傷者が治療後または回復後フィールドに戻る際は、主審の承認を得た後インプレー中はタッチライン側から、アウトオブプレー中はタッチライン側またはゴールライン側からフィールドの中に入ることができる。
4. 競技者の試合中の飲料は水のみとする。飲水は、アウトオブプレー中においてタッチラインとゴールラインを跨いだ状態において認められる。ボトル等を共有しないようにすること。
※ピッチ周りにボトルを置く場合は、試合中に置くことは原則、認めない。
5. アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツは、原則各袖の主たる色、ショーツの主たる色と同じ色とする
6. ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなければならない。

• 大会期間中に疑問、不測の事態が発生した場合は、必ず、大会運営関係者に連絡すること。

★連絡先 大会事務局： 谷山 洋（タニヤマ ヒロシ） 090-8947-2513

以上